

KDDI SMARTアドレス帳

MDMご利用ガイド

改訂日付:2025年9月1日

改訂履歴

改訂日付	修正箇所	修正内容
2025/9/1	全体	新規作成

はじめに

本書の目的

本書は、「KDDI SMARTアドレス帳」サービスでMDMの活用方法をご説明するものです。

目次

-
1. **MDMの活用方法**
 - 1-1. プロファイル配信
 - 1-2. アプリケーション配信
 - 1-3. KDDI Smart Mobile Safety Managerを利用する場合
-
2. **MDM-デバイス制限**
 - 2-1. MDM-デバイス制限とは
 - 2-2. MDM-デバイス制限の利用切替
 - 2-3. MDM-デバイス制限でアプリ配信 (iPhone)
 - 2-4. MDM-デバイス制限でアプリ配信 (Android)

1. MDMの活用方法

1-1. プロファイル配信

ご利用ユーザーがiPhone端末を利用し「SMARTアドレス帳 for Local Sync」アプリケーションを利用する場合は以下①②のいずれかの設定が必要になります。

- ①CardDAVの設定
- ②プロファイルのダウンロード

※ プロプランでフルクラウドモードを利用する場合は設定しないでください。

なお、②のプロファイルはMDMから配信することも可能ですが、利用しているMDMによってはユーザー情報にメールアドレスが登録可能になり、変数などを用いてプロファイル配信時に利用可能な場合があります。（パスワードは共通になる場合があります）これを行うことによりCardDAVの設定はご利用ユーザー側での設定の手間が削減可能です。

詳細はご利用MDMのマニュアルやMDM側にお問い合わせください。

1-2. アプリケーション配信

Android/iOSのSMARTアドレス帳アプリケーションはそれぞれストアにて公開されているため、MDMを用いてご利用ユーザーの端末にインストールさせることが可能です。

なお、ログインに必要なID/パスワードはご利用ユーザーが入力する必要があります。

1-3. KDDI Smart Mobile Safety Managerを利用する場合

SMARTアドレス帳サービスでiPhone端末を利用する場合に「KDDI Smart Mobile Safety Manager」(以下、SMSM) でどのように活用できるかを記します。

◆ プロファイルの配信

ご利用ユーザーがiPhone端末を利用し「SMARTアドレス帳 for Local Sync」アプリケーションを利用する場合はCardDAVの設定が必要になります。

※ プロプランでフルクラウドモードを利用する場合は設定しないでください。

CardDAVは「[iPhone端末設定ガイド](#)」の「2-1. CardDAV設定」にあるCardDAVの手動設定と同じようにサーバ/ユーザ名/パスワードになります。

CardDAVの設定情報は構成プロファイルとして、SMSMで構成プロファイルを配信することが可能となります。

また、SMSMではユーザー情報にメールアドレスが登録し、構成プロファイルに変数を用いてメールアドレスを参照することが可能です。これを行うことによりご利用ユーザー側でCardDAVの設定の手間を削減することが可能です。

SMSMで配信する手順は次ページを参照ください。

① SMSMの管理画面にログインします。

<https://ausl.smartmanager.jp/>にアクセスしてログインします。

KDDI Smart Mobile Safety Manager

企業コード
ユーザーIDまたはメールアドレス
パスワード

ログイン状態を保持

[初めてご利用の方、パスワードを忘れた方はこちら](#)
[ベシックバックプラスをご利用の方はこちらからログインしてください](#)

日本語 | English | 簡体中文 | 繁體中文

ver:9.18.0 | ©2011 OPTIM | 利用規約 | プライバシーポリシー | マニュアル

② 「設定」→「iOS」を選択します。



③ 「構成プロファイルアップロード」→「+」を選択します。



④ 任意のプロファイル名を入力し、ファイルをアップロードします。

アップロードするファイルは次ページを参照ください。

新規作成

管理 - 編集

プロフィール名

構成プロファイル

空のプロファイルを新規作成
 ファイルをアップロード

ファイルを選択 選択されていません

※各項目の詳細はこちら ([目次] の [MDM設定] を参照してください)
※Apple Configuratorにて作成した構成プロファイルをアップロードした場合、設定された値が管理サイト上に正しく表示されないことがあります。設定の内容はApple Configuratorにてご確認ください。

保存

◆ アップロードするファイルについて

iPhone端末に設定するCardDAVを構成するSMARTアドレス帳のファイルは以下になります。任意のテキストエディタに下記枠内の情報を張り付けて、拡張子を.mobileconfigにして保存してください。

保存したファイルを手順④で選択してください。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<!DOCTYPE plist PUBLIC "-//Apple//DTD PLIST 1.0//EN" "http://www.apple.com/DTDs/PropertyList-1.0.dtd">
<plist version="1.0">
<dict>
  <key>PayloadContent</key>
  <array>
    <dict>
      <key>CardDAVAccountDescription</key>
      <string>KDDI SMARTアドレス帳</string>
      <key>CardDAVHostName</key>
      <string>api.ksa.kddi.ne.jp</string>
      <key>CardDAVUsername</key>
      <string>%USER_EMAIL%</string>
      <key>CardDAVPort</key>
      <integer>443</integer>
      <key>CardDAVUseSSL</key>
      <true/>
      <key>PayloadDescription</key>
      <string>CardDAV アカウントを構成</string>
      <key>PayloadDisplayName</key>
      <string>CardDAV</string>
      <key>PayloadIdentifier</key>
      <string>KDDI.SMARTADDRESS.PROFILE.carddav</string>
      <key>PayloadOrganization</key>
      <string>KDDI</string>
      <key>PayloadType</key>
      <string>com.apple.carddav.account</string>
      <key>PayloadUUID</key>
      <string>7DE05935-B155-4D57-8ECB-98E5C69C37D8</string>
      <key>PayloadVersion</key>
      <integer>1</integer>
    </dict>
  </array>
  <key>PayloadDescription</key>
  <string>KDDI SMARTアドレス帳のCardDAV設定用プロファイルです。</string>
  <key>PayloadDisplayName</key>
  <string>KDDI SMART アドレス帳</string>
  <key>PayloadIdentifier</key>
  <string>KDDI.SMARTADDRESS.PROFILE</string>
  <key>PayloadOrganization</key>
  <string>KDDI</string>
  <key>PayloadRemovalDisallowed</key>
  <false/>
  <key>PayloadType</key>
  <string>Configuration</string>
  <key>PayloadUUID</key>
  <string>8440E424-20C3-457A-AE2C-F0B837D62C1D</string>
  <key>PayloadVersion</key>
  <integer>1</integer>
</dict>
</plist>
```

⑤ 「構成プロファイル」→「+」を選択します。



⑥ 任意の設定名を入力し、構成プロファイルを④設定したプロファイル名を設定して保存します。



⑦ 「組織」→「+」を選択して、任意の組織名を入力して保存します。



- ⑧ 手順⑦で保存した設定を選択して、iOS設定の編集を押下します。



- ⑨ 構成プロファイルに手順⑥で保存した設定を選択して、保存します。



⑩ 「ユーザー」→「+」を選択します。



⑩ ユーザー情報を入力して保存します。

ユーザー情報は以下を設定してください。

名前：任意の名前

メールアドレス：SMARTアドレス帳のログインIDを設定してください。

組織：手順⑦で設定した組織名を選択ください。

その他は任意で設定してください。

※ CSVで一括追加・編集も可能になります。

SMARTアドレス帳でiPhone端末を利用する際、SMSMで構成プロファイル(CardDAV)の配信に必要な設定は以上となります。

その他のSMSMご利用方法は、マニュアルを参照してください。

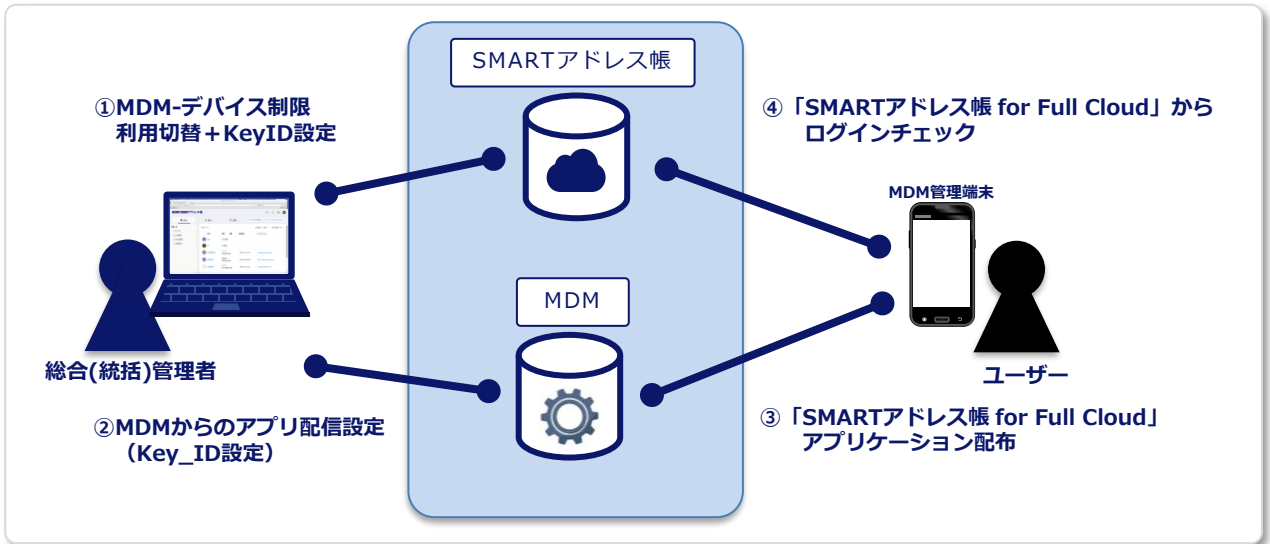
2. MDM-デバイス制限

2-1. MDM-デバイス制限とは

プロプラン

MDM上で管理している端末のみアクセスを可能とすることで、MDM管理外のアクセスを制限します。MDMから各デバイスに配布されるKeyIDと、SMARTアドレス帳の管理画面に設定するKeyIDが一致する場合にアプリケーションへのログイン可能となります。

- ※ 本機能はプロプランでのみご利用可能となります。
- ※ 利用モードはフルクラウドモード時のみ有効です。同期モードの場合はご利用いただけません。
- ※ 本機能はログインを制限する機能のため、アプリケーションにログイン済みの端末は、MDM-デバイス制限を有効化、またはKeyIDを変更した場合、ログインした状態のまま使い続けることが可能です。



事前確認

ご利用には事前に次の前提条件を満たしている必要があります。

- ・「KDDI SMARTアドレス帳」のプロプランでお申し込みが完了し、管理者にてログインできる状態となっていること。（プロプランでのみご利用可能となります）
- ・本機能は利用モードがフルクラウドモード時のみ有効となるため、「SMARTアドレス帳 for Full Cloud」アプリケーションを配布してください。
 - ※ 本機能は「SMARTアドレス帳 for Local Sync」アプリケーションでは利用できません。
- ・アカウントごとに有効無効の設定はできないため、ケータイ版アプリケーションはご利用できません。

ご不明な場合は下記ページよりお問い合わせください。

「KDDI SMARTアドレス帳」 サポート情報

<https://biz.kddi.com/support/service/smart-address/#contact>

2-2. MDM-デバイス制限の利用切替

プロプラン

SMARTアドレス帳サービスでMDM-デバイス制限を利用する場合には事前に利用切替をおこないます。

統括管理者または総合管理者で管理画面にログインして設定してください。



① 「システム設定」を選択します。

歯車アイコンからメニューを表示して、「システム設定」を選択します。

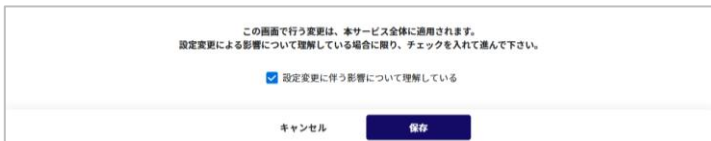


② 「MDM-デバイス制限を有効にする」を選択します。

フルクラウドアプリに関する設定にある、MDM-デバイス制限を設定します。

③ 「KeyID」を入力します。

任意のKeyIDを入力します。



④ 「設定変更に伴う影響について理解している」にチェックして、保存します。

本設定を反映すると、MDMからのアプリ配信ではない場合にログイン不可となります。

2-3. MDM-デバイス制限でアプリ配信 (iPhone)

プロプラン

MDM-デバイス制限する場合のアプリケーション配信時にAppConfigでKeyIDを設定する方法のみ説明しております。各ユーザーへの配信設定は別途マニュアルを参照ください。

なお、本書ではKDDI Smart Mobile Safety Manager (以下SMSM) でご説明しますが、他のMDMをご利用の場合も同様な設定が必要となります。

※ 詳細はご利用のMDMのマニュアルを参照ください。

① SMSMの管理画面にログインします。

<https://ausl.smartmanager.jp/>にアクセスしてログインします。

② 「設定」→「iOS」を選択します。



③ 「アプリケーション」→「アプリケーション配信」→「+」を選択します。



④ 任意の設定名を入力して、AppStore一覧の「+」を選択します。



⑤ Store IDの入力と、管理を有効に設定して保存します。



Store IDは「SMARTアドレス帳 for Full Cloud」のアプリケーションIDとなり以下を入力してください。

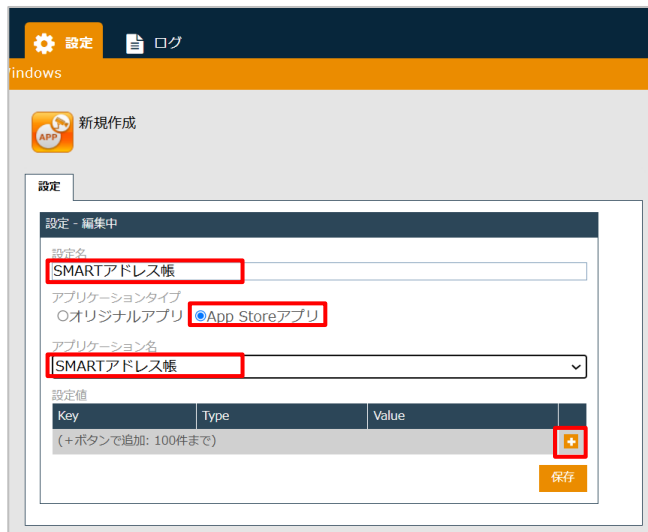
項目	設定内容
Store ID	6740188172
管理	チェックを入れる

※ App Configurationは後から設定します。
(次ページを参照ください)

⑥ 「アプリケーション」 → 「App Configuration」 → 「+」を選択します。



⑦ 任意の設定名を入力と、アプリケーション名の選択して、設定値の「+」を選択します。



アプリケーションタイプを「App Storeアプリ」に選択してから、アプリケーション名は「SMARTアドレス帳」を選択してください。

⑧ 設定値を入力して、保存します。

設定値は以下を設定してください。

項目	設定内容
Key	KeyID ※ KeyIDの半角全角にご注意ください。異なる場合はログインできません。
Type	String
Value	2-2.の手順③にてシステム設定で入力したKeyIDを設定してください。

⑨ 「アプリケーション配信」で「編集」を選択します。

手順⑤で保存した設定を編集します。

- ⑩ 「App Configuration」で「SMARTアドレス帳」を選択して、保存します。



手順⑧で保存したApp Configurationの設定を適用します。

アプリケーション配信時にKeyIDを設定する手順は以上となります。
この配信設定を各ユーザーに適用してご利用ください。

詳細はご利用のMDMのマニュアルを参照ください。

2-4. MDM-デバイス制限でアプリ配信（Android）

プロプラン

MDM-デバイス制限する場合のアプリケーション配信時にAppConfigでKeyIDを設定する方法のみ説明しております。各ユーザーへの配信設定は別途マニュアルを参照ください。

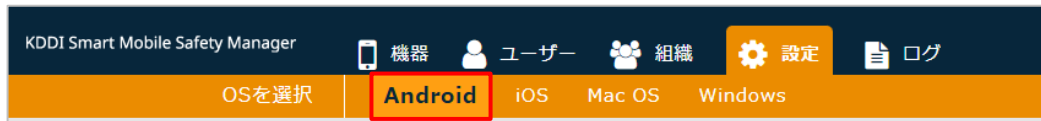
なお、本書ではKDDI Smart Mobile Safety Manager（以下SMSM）でご説明しますが、他のMDMをご利用の場合も同様な設定が必要となります。

※ 詳細はご利用のMDMのマニュアルを参照ください。

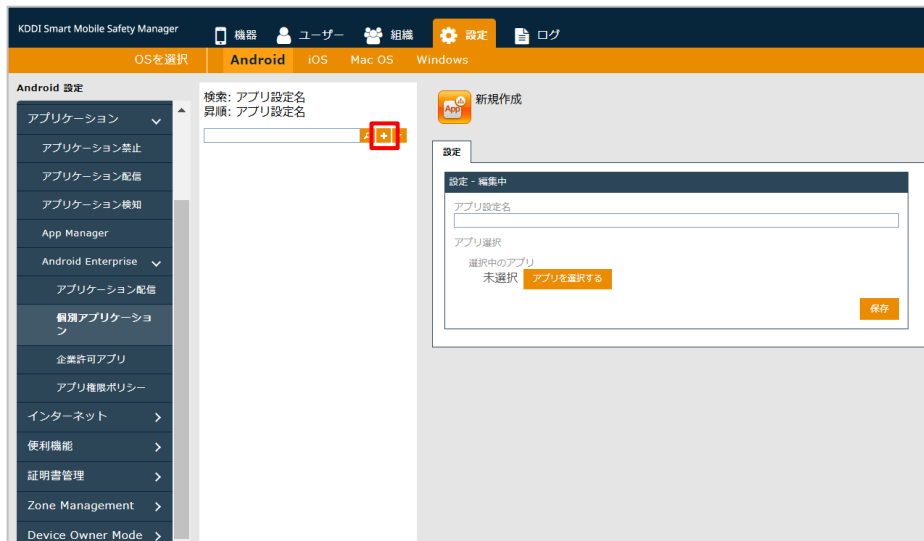
① SMSMの管理画面にログインします。

<https://ausl.smartmanager.jp/>にアクセスしてログインします。

② 「設定」→「Android」を選択します。



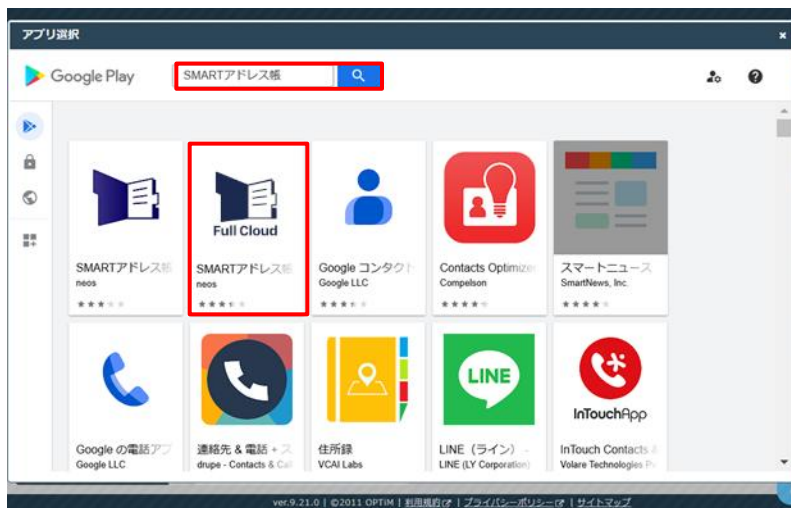
③ 「アプリケーション」→「Android Enterprise」→「個別アプリケーション」→「+」を選択します。



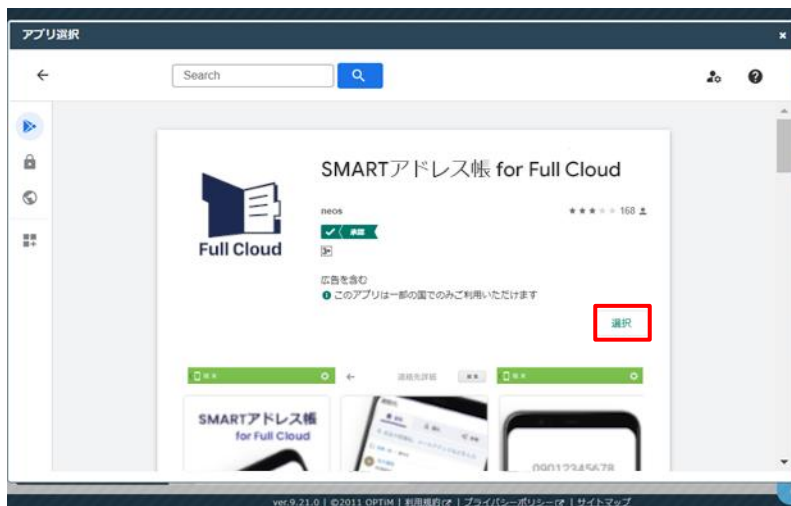
- ④ 任意なアプリ設定名を入力し、「アプリを選択する」を押下します。



- ⑤ 「SMARTアドレス帳」を検索して、「SMARTアドレス帳 for Full Cloud」を選択する。



- ⑥ 「選択」ボタンを押下する。



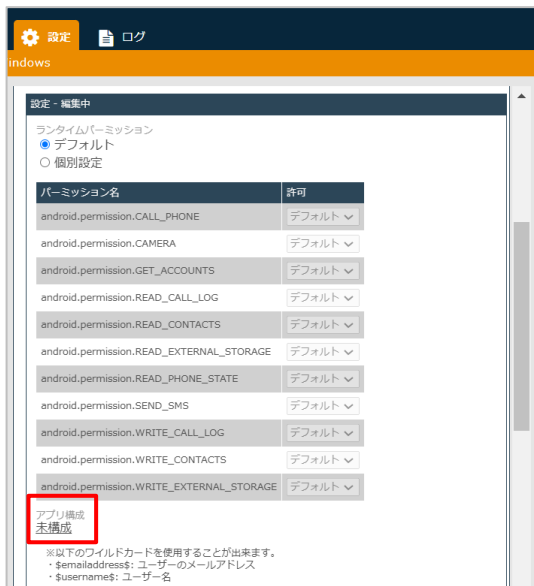
⑦ 保存を押下します。



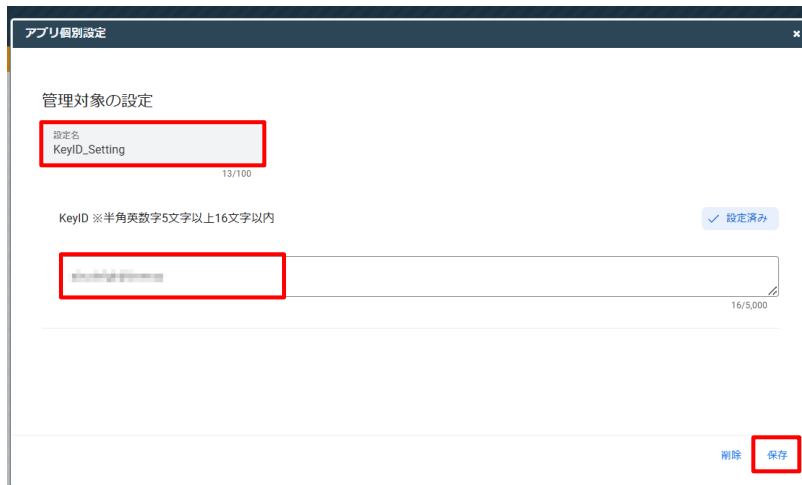
⑧ 保存した設定の「編集」ボタンを押下する。



⑨ 「アプリ構成」→「未構成」を押下します。



⑩ 任意の設定名、KeyIDを入力して保存する。



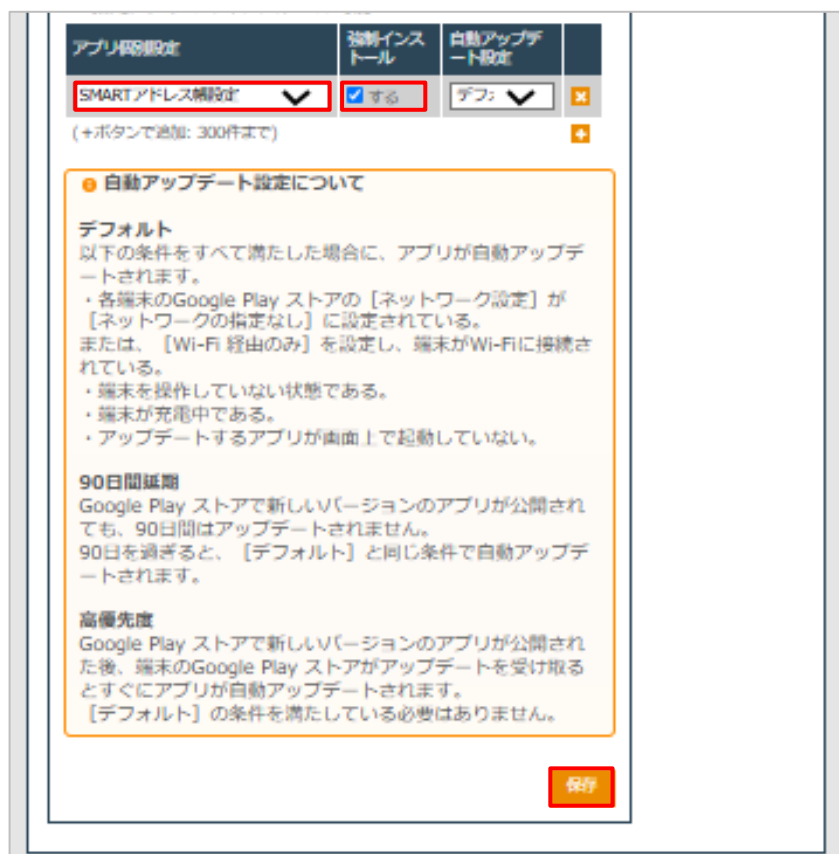
KeyIDは以下を設定してください。

項目	設定内容
KeyID	2-2.の手順③にてシステム設定で入力したKeyIDを設定してください。

- ⑪ 「アプリケーション」→「Android Enterprise」→「アプリケーション配信」→「+」を選択して、任意の配信設定名を入力し「指定アプリのみインストール可能」を選択して「+」を押下します。



- ⑫ アプリ個別設定では手順⑦で保存した設定を選択し、強制インストールにチェックを入れて、保存します。



アプリケーション配信時にKeyIDを設定する手順は以上となります。
この配信設定を各ユーザーに適用してご利用ください。

詳細はご利用のMDMのマニュアルを参照ください。